

令和8年度入学試験問題（前期日程）

## 小論文

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース  
学校教育専攻

### 注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、150分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。
6. 解答する際の字体は楷書とし、ていねいに書くこと。

## 問 題

次の文章を読んで、以下の各問に答えなさい。

**非公開**

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

# 非公開

(大和俊広 (2025) . 「学校ってさ、疲れるよね～。月曜日は特に……。一登校拒否 (不登校) からみえる「学校病理」, 『そだちの科学』 No. 44 83～88 ページ, 一部改変)

問1 筆者が考える登校拒否（不登校）の要因について、150字以上、200字以内で要約しなさい。

問2 下線部①「学校の「生活の場所」機能」とはどのような機能だと考えますか。本文をふまえ、200字以上、300字以内で具体的に説明しなさい。

問3 下線部②「「楽しいだけでまったく無意味な授業」など本当に存在するだろうか？」という筆者の問いに対して、あなたはどのように答えますか。授業における楽しさとは何かを明確にしたうえで、あなたの考えを800字以上、1,000字以内で論じなさい。

## 令和8年度入学試験問題（前期日程）

# 小論文

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース  
学校教育専攻

### 出題の意図

教育学部では、アドミッション・ポリシーに基づき、(1)教員として主体性をもち、子ども及び社会と関わっていきたい人、(2)教育の理論と実践を広く深く学ぶ意欲のある人、(3)高等学校での基礎学力を身に付け、思考力・判断力・表現力をもつ人、(4)沖縄の歴史的・環境的・文化的・社会的特性を活かしながら、グローバルな視点に立って教育活動に携わりたい人を求めている。

この問題の題材は、登校拒否の問題からみる現学校の仕組みから、楽しい授業について筆者の実践から考察したものである。その意図を理解したうえで、問いを通じ、学校教育専攻のアドミッション・ポリシーを踏まえて、①教育や子どもに関する知識・理解、②小学校教育員として必要な思考力・判断力・表現力、③小学校教育に対する意欲・関心をみる。